

日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

このところ、地震、大雨による水害・土砂崩れ、連日の猛暑、台風12号と自然の猛威にさらされています。亡くなられた方々には、心より哀悼の誠を捧げます。また、いまだに被災から立ち直られていない方々もおられます。心よりお見舞い申し上げます。

我が国も平成に入ってから、高温となる日が多くなるとともに、一日の雨量が100ミリ以上降る大雨の日数も増えています。地震も、南海トラフ地震のおそれもあり、地殻変動が活発化しています。

**災害が頻繁に発生する時代に入っています。**

**当面の課題としては、**

**1) 避難指令だけでなく、道路の通行止めなど交通機関の情報が電子メールを通じて、広く行き渡るように行政にお願いをしなければなりません。**お年寄りでメールが使いこなすことができない方々には、自治会単位での緊急連絡網を活用すべきでしょう。

**2) 行政からの避難指示だけでは、情報が錯綜し混乱する**

**方々もいるので、防災意識の改善と訓練を普段から徹底すべきです。**

**3) 河川整備も必須です。**頻繁に大雨に見舞われる時代に応じた対策が求められています。**私も数年前に、国土交通省に頼んで、嵐山以南の河川整備の仕事を進めました。**同時に、さらなる対策を検討するための委員会を立ち上げさせました。この委員会が5年前の台風素早く対応して浚渫等を進めてくれました。そのお蔭で、今回の大雨で大堰川、桂川の水位が比較的早く下がり、被害も最小限に抑えられました。引き続き、頑張ってもらいます。

中長期的な課題としては、次号に詳しく述べますが、そもそも山の整備が必要です。また、もう一つは、人口減少で過疎地が増え、もはやお年寄りだけの集落になる地域が増えています。こうした過疎地に対する政策を実行することが強く求められています。

**言うまでもなく、治山治水は、政治の要諦です。政治の「治」の語源は、本来そういう意味です。私も皆さんのご意見を吸い上げながら、これからも奮闘してまいりますので、ご指導よろしくお願ひします。**